

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年 7月 1日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

日本電気硝子株式会社

代表取締役社長 社長執行役員 岸本 暁

(代理人)執行役員大津事業場長 和田 正紀

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第21条第1項
第22条第2項において準用する同条例第21条第1項
の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	日本電気硝子株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 岸本 暁
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	日本電気硝子株式会社 大津事業場					
事業所の所在地	滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号					
主たる事業	細分類番号	2	1	1	9	その他のガラス・同製品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2020	年度	～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	プロセス改善対策	硝子溶融炉における酸素添加による省エネ	2020年度に実施済み
2	運用改善対策	製品硝子ロス低減による歩留まり向上	2020年度に実施済み
3	運用改善対策	製品硝子流量アップによる稼働期間短縮	2020年度に実施済み
4	プロセス改善対策	ボイラー更新による省エネ	2020年～2022年での実施は見送り。2023年に再検討予定。
5	プロセス改善対策	各変電所の変圧器効率改善による電力使用量削減	2022年は削減に向け取り組んだ。2023年以降も継続実施する。
6	プロセス改善対策	事業場 コンプレッサー更新による省エネ	2021年度に1台更新。2022年度での1台更新は完工できず、2023年度にて完工予定。
7	運用改善対策	ドライルームでの湿温管理改善による省エネ	2020年度に実施済み
8	プロセス改善対策	事業場 厚生棟空調設備改善による省エネ	2020年度に実施済み
9	プロセス改善対策	照明LED化による省エネ	2022年度は小規模だが実施
10	プロセス改善対策	硝子溶融技術開発による省エネ	2020年度より実施中
11	プロセス改善対策	硝子溶融炉において炉構造を改善し放熱量を削減し、また、硝子流量を増やし稼働期間の短縮を図ることによる省エネ	2020年度に実施済み
12	プロセス改善対策	インゴット成形における溶融材料の歩留りを向上し、稼働期間の短縮を図ることによる省エネ	未実施であるが、今後も稼働の見通しが立っていない

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>計画時に掲げた目標『2016年度を基準年度とし、原単位を毎年1%削減』に対する2022年度の結果については、【2022年度結果】1.3227 tCO₂/ton (目標 1.6313 tCO₂/ton以下) ということで、目標達成となった。</p> <p>上記の取組に係る目標の進捗については、 取組項目1は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目2は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目3は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目4は、2022年度での実施は2023年度以降へ先送りとなった。 取組項目5は、2022年は削減に向け取り組んだ。2023年以降も継続実施する。 取組項目6は、2021年度に計画通り実施済み。 取組項目7は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目8は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目9は、2022年度も小規模に実施した。 取組項目10は、省エネ型硝子溶融炉の開発を2021年度に実施開始し2022年度も継続した。 取組項目11は、2020年度に計画通り実施済み。 取組項目12は、2022年度は未実施であるが、今後も稼働の見通しが立っていない。</p>

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>○エネルギー削減に効果のある製品を製造しています。</p> <p>①ガラス製魔法瓶用ガラスを製造しています。</p> <p>②IHクッキングヒーター用ガラスを製造しています。</p>	<p>【計画の進捗】</p> <p>① 製造休止中。</p> <p>② 製造を継続中。</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>取組内容①の魔法瓶用ガラスの製造については、現在休止中。</p> <p>取組内容②のIHクッキングヒーター用ガラスの製造については、調理時の熱量のムダがほとんどないエネルギー高効率の製品を社会へ潤沢に供給し、低炭素社会づくりに貢献できたと考えています。</p>

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1	廃棄物・水の削減	ガラス事業固有の固形廃棄物は社内再利用を徹底することを基本にリサイクルに着目し、製品販売重量に対する中間処理及び埋立処分される固形廃棄物の比率を指標に削減に取り組んでいます。 また、貴重な資源であり、モノ作りのレベルは水の使用量に表れるという考えから、製品販売重量に対する水の量の比率を指標に削減に取り組んでいます。	継続実施中
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			